

学校法人 高田学苑
高田短期大学育児文化研究センターだより

IKUBUN NEWS

第10号 2009.6.15

発行 高田短期大学育児文化研究センター

〒514-0115 三重県津市一身田豊野195

TEL 059(232)2310(代表) FAX 059(232)6317

平成21年度 子育て・子育てを応援する地域支援事業

平成20年度は、センター企画の地域子育て支援事業を17回実施し、700名余の参加者があり、約200名の子育て応援隊が活躍しました。また、外部の子育て応援隊として25回にわたり延べ200名を派遣しました。これで2年間の特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)が終了したことになります。この2年間、育児文化研究センター「子どもの心を育む地域子育て支援事業」実施にあたり地域の皆様をはじめ客員研究員の皆様ご協力・ご支援をいただきありがとうございました。

さて平成21年度は、「子育て・子育てを応援する地域支援事業」として、センター企画として5分野9回の事業を企画しています。本年は、子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成を受け読書推進活動をいくつか展開します。また、今年は、中学生・高校生のための次世代育成応援講座を企画しました(右下ポスター)。今年も皆様のご支援・ご協力の下に育児文化研究センターの活動を充実していきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお祈りいたします。

育児文化研究センター長 梶 美保

地域の皆様とともに

本年度より主任研究員を務めさせていただくことになりました。よろしくお願い致します。

私が担当している昨年度立ち上げました「子育てママのホットとひろば」は、この事業に参加された地域の皆様の声から始まったものです。「子育て」って本当に大変ですよ。それなのに、子育てはみんながやっていることだからなぜか「やってあたりまえ」と思われ、子育て中の母親の辛い気持ちなどは置き去りにされがちです。

保育者養成校の本校としては現場を置き去りにすることなく、現場からの声を大切に拾いながら、これからもこの事業を進めていきたいと考えております。どうぞ皆様方のご参加と、忌憚のないご意見・ご希望をお寄せください。皆様に親しまれる育児文化研究センターとなりますよう、全力でぶつかっていきたく思っております。

主任研究員 橋本 景子

- ◇ センター長・主任研究員挨拶
・子育て・子育てを応援する地域支援事業
・地域の皆様とともに
…1頁
- ◇ 平成二十一年度総会報告
・平成二十年度事業報告
・平成二十一年度組織・研究員
・平成二十一年度事業計画
…2頁
- ◇ 平成二十一年度出前講座のご案内
…4頁
- ◇ 総会特別講演概要
「キッズカルチャーデザインセンターの活動と課題」 杉崎 清子先生
…5頁
- ◇ 新入会研究員の紹介
問い合わせアクセス
…6頁



CONTENTS

早稲田短期大学育児文化研究センター
中学生・高校生のための次世代育成応援講座

高田短期大学育児文化研究センターでは、「読書推進活動を体験しよう!」「保育者をめざしている大人生活士にも地域子育てを支える体験しよう!」を企画し、読書を通して中学生・高校生の皆さんへの参加を期待しています。

どの1 保育実技を体験しよう!
新着雑誌をつくらう!一歩づつ(ひ)絵本に挑戦!一歩づつ(ひ)絵本に挑戦!
日時: 6月27日(土) 10時~12時
会場: 高田短期大学 図書室
対象: わけのきかない児童書
講師: 高田短期大学 図書室 職員
参加費: 200円(送料別)
申し込み: 申し込み用紙をダウンロード

どの2 保育者をめざしている短大生とともに地域子育てを体験しよう!
「子育てママのホットとひろば」 「子どもの心を育てる本の読み聞かせ」
日時: 6月27日(土) 10時~12時
会場: 高田短期大学 図書室
対象: 高田短期大学 学生
講師: 高田短期大学 学生
参加費: 無料
申し込み: 申し込み用紙をダウンロード

申し込み用紙をダウンロード

高田短期大学 図書室 職員

高田短期大学育児文化研究センター 平成21年度総会（5月8日）概要

平成20年度 事業報告<平成20年4月~平成21年3月>

1. 育児文化研究センター総会(5/9)
2. 定例研究会(4回開催)出前講座(44件)
3. 子どもの夢を育む地域支援プロジェクト事業
 - ・「子どもの夢を育むクッキング」参加者延べ50名
(6/13 講師:駒田聡子客員研究員 12/13 講師:鷺見裕子研究員)
 - ・「子どもの夢を育む相談事業『子育てママのホットひろば』」
参加者延べ70名(6/21 10/18 11/22 講師:橋本景子研究員)
 - ・「0・1・2歳児のための『子どもひろば』」参加者延べ159名
0歳児(7/10 10/4 講師:鈴木照美客員研究員 山中希和)
1・2歳児(6/28 11/15 講師:榊原尉津子研究員 山本敦子研究員)
 - ・「子どもの夢を育む絵本の読み聞かせ」参加者延べ85名
(10/11 11/9 講師:中井千保子客員研究員 生川晴美)
(12/13 1/17 講師:安藤はるみ客員研究員 岩附啓子客員研究員)
 - ・「子どもの夢を育む子どものための制作ひろば『親子で楽しむ手作り絵本』」
参加者34名(8/31 講師:わけびき真澄研究員)
 - ・「子どもの夢を育むマタニティーコンサート」参加者100名
(10/18 Artists:岡田育代(Sop.) 片桐直樹(Bar.)
殿護弘美(pf) 西山佳代(Vn.) 増田久美子(お話)
4. 学校行事
 - ・「子育て父親応援教室」(10/22)参加者65名
 - ・「馬とふれあう親子フェスタ」(11/23)参加者201名
5. 子育て応援隊
自治体等外部からの要請に応じ、本学学生が子ども・子育て関連のイベント等に「子育て応援隊」として25件延べ299名参加。
6. 育児文化研究センターだより「IKUBUN NEWS」6月・2月発行 700部
7. 紀要『高田短期大学育児文化研究』第4号 3月発行 300部
8. 出前講座の実施
46件の実績
9. 育児文化研究センターホームページの管理



☆平成21年度 運営委員

梶 美保(育児文化研究センター長) 橋本景子(主任研究員) 千草篤磨 山本敦子 池村 進

☆平成21年度 組織

センター長	梶 美保
主任研究員	橋本景子
研究員	池村 進 上村 晶 小田義隆 梶 美保 小池はるか 榊原尉津子 鷺見裕子 武川眞固 千草篤磨 内藤由佳子 橋本景子 平田祐子 福西朋子 三宅啓子 山崎征子 山本敦子 わけびき真澄 鷺尾 敦 (以上、本学専任教員)
客員研究員	池上綾子 岩附啓子 大蔵香代子 太田和子 川喜田多佳子 駒田聡子 田口鉄久 田中厚好 中井千保子 朴 恵淑 廣瀬玲子 望木郁代

平成 21 年度 事業計画<平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月>

1. 総会 5 月 8 日(金曜日)16:30～

特別講演 「キッズカルチャーデザインセンターの活動と課題」

講師 杉崎清子先生(三重中京大学短期大学教授 短期大学部長キッズカルチャーデザインセンター長)

2. 定例研究会 年間 4 回: 7 月 15 日(水) 梶美保・榊原尉津子研究員、10 月 21 日(水) 千草篤磨研究員
12 月 16 日(水) 岩附啓子客員研究員、2 月 17 日(水) 田中厚好客員研究員

3. 子育て・子育てを応援する地域支援プロジェクト事業の実施

本年は、5 分野 9 回開催予定です。

※②④⑤: 独立行政法人国立青少年教育振興機構 平成 21 年度子どもゆめ基金助成事業

① 『子育てママのホッとひろば ―子どもの自由あそびと育児相談―』(於: 本学育児文化室)

◎ほんのひとときのブレイクタイムを

6 月 27 日(土) 10 月 17 日(土) 10:00～12:00 講師: 橋本景子研究員

対象: 就学前乳幼児親子 15 組程度

② 『保育教材をつくろう! ―手づく絵本に挑戦!―』(於: 本学造形演習室)

◎世界でひとつ手づくりオリジナル絵本

7 月 11 日(土) 9:30～12:30 講師: わけびき真澄研究員

対象: 中学生・高校生 30 人程度

③ 『親と子のための音楽あそびひろば』(於: 三重県文化会館第 1 リハーサル室)

◎音楽を見て・聞いて・感じて遊びます。

8 月 29 日(土) 10:00～12:00 講師: 福西朋子研究員 木下和美(音楽家)

浦中こういち(あそび作家・イラストレーター)

対象: 就学前親子 30 組程度

④ 『子どもの心をわくわくさせる絵本』(於: 四日市市博物館)

◎絵本の世界に音を取り入れたちよっと変わった読み聞かせ

9 月 27 日(日) 14:00～16:00 講師: 中井千保子(絵本研究家) 生川晴美(絵本研究家)

野呂昌子(音楽家)

対象: 親子 50 組程度

⑤ 『子どもの心を育む絵本の読み聞かせ』(於: 本学育児文化室)

◎親子で楽しい読み聞かせ体験

○10 月 31 日(土) 11 月 28 日(土) 10:00～12:00 講師: 中井千保子客員研究員・生川晴美(子ども読書研究家)

対象: 就学前親子 毎回 16 組程度

○12 月 6 日(日) 1 月 16 日(土) 10:00～12:00 講師: 岩附啓子客員研究員・廣瀬玲子客員研究員

対象: 就学前親子 毎回 16 組程度

4. 「子育て応援隊」派遣事業 随時

公共性が高い自治体・民間団体からの子育て支援の要請に応じて学生と研究員を派遣しています。

5. センターだより「IKUBUN NEWS」年 2 回発行(6 月・2 月)

育児文化研究センターの最新情報を発信しています。

6. 紀要「高田短期大学育児文化研究」第 5 号 年間 1 回(3 月)刊行

研究員・客員研究員の研究成果の場となっています。

7. 「出前講座」49 講座 講師派遣 随時

地域貢献事業の一つとして、県内各地の研修会や学習会などに出前講座として講師派遣に応じます。

平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月分の企画は 4 頁のとおりです。ご活用ください。

8. ホームページ

活動の「お知らせ(ポスター)」・「活動内容」を随時掲載

平成21年度 出前講座派遣企画一覧

お問い合わせ先: 高田短期大学育児文化研究センター(担当: 川村)

①TEL:059-232-2310(内線 123) <電話応需時間>月・水・金曜日の9:00~17:00 ②メールアドレス ikubun@takada-jc.ac.jp

No.	講座内容(テーマ)	(内 容)	(対 象)	氏 名
1	科学の心を育む「どきどき工作入門」	身の回りの素材を活用して簡単なおもちゃを作っていくなかで、「なぜだろう?」という素朴な疑問を引き出し、それについて、やさしく解説します。	幼児・小学生とその保護者	池村 進
2	親子でジャンプ	手遊び・歌遊び・ふれあい遊びを通して、親子のスキンシップを楽しみましょう。	幼児とその保護者	上村 晶
3	リサイクルおもちゃを作ろう	身近な素材で簡単なおもちゃを作ろう。手作りの温かみを子どもと一緒に感じてみましょう。		
4	おはなし大好き	たくさんのお話に触れながら、想像の世界を楽しんでみましょう。		
5	幼稚園教育要領再読	平成20年に改定された新指針・新要領の改定点をわかり易くお伝えします。	幼稚園・保護者	小田義隆
6	保育所保育指針再読		保育園・保護者	
7	0・1・2歳児の発達と子育て、保育	0・1・2歳児の発達のすじみちと、具体的な子育ての技術、大切にしたい子育てのポイント等。	保育者・保護者	梶 美保
8	乳幼児の健康	乳幼児期からの生活習慣を整えることの大切さや、現代の子ども健康の課題など。		
9	乳幼児期からの食育(生活リズム)	乳幼児期からの食育(生活リズム)の重要性について。		
10	子どもの心と大人の心	子どもが見聞きしているもの、感じていること、考えていることは大人とどのように違うのか、どうして違うのかについて解説します。	保護者・保育者・教員・一般	小池はるか
11	親子で楽しむ ふれあいあそび	家庭でできるふれあいあそびを楽しみましょう。	幼児とその保護者(20組程度)	榎原尉津子
12	子どもの栄養と食生活	子どもの発育・発達と栄養の関係を理解し、子どもの健康にとって望ましい食生活とはどのようなものかを考える。	保護者	鷺見裕子
13	福祉のこころと児童虐待	子どもをめぐる福祉の状況をふまえて、福祉のこころを考える。その上で児童虐待の解決方法を探ってみる。	保育関係者・保護者	武川真固
14	障害児保育について	各種障害の理解、発達段階に応じた保育等	保育関係者・保護者	千草篤磨
15	カウンセラーから見た子どもの心と子育てで大切なこと	子育てで迷っている大人(先生や保護者)へ子どもからのメッセージを伝えます。	保護者、保育士	橋本景子
16	相手が心を開ける上手な聴き方	相手が心を開くか開かないかはちょっとした聴き方にあります。しかしそれは難しい。	保護者、保育士	
17	子どもへの「読み聞かせ」と国語教育	子どもへの「読み聞かせ」の方法や効果について学びましょう。	保護者・保育関係者	平田祐子
18	親子で学ぶビジネスマナー	日本の社会で必要とされているマナーについて学び、子どもへのマナー教育に役立てましょう。		
19	子どもとのコミュニケーションのとりかたと言葉づかい	子どもとの関わり方をコミュニケーションサイクルに従って学びながら、言葉の役割について考えましょう。		
20	親子で楽しむふれあい歌あそびとミニコンサート	歌あそびを通して親子でふれあったり、生の音楽を聴いたりして、楽しい時間を過ごしましょう。	幼児とその保護者 (20組程度)	福西朋子 山本敦子
21	幼児のリトミックあそび子どもの歌あそび	「幼児の身近な事象や経験をテーマにしたリトミック遊び」の体験と教育方法 楽しいコミュニケーションと表現遊びの体験学習	幼稚園・保育園(所)の職員・幼児教育関係者 幼児及びその親	三宅啓子
22	今子どもからのメッセージ	就学前の幼児をもつ保護者に入学までの親の対応、伸びる子の秘訣について考えたい。	保護者・保育者	山崎征子
23	子どもの遊びは人生の宝	「生きる力」が重要視されている今、保護者を中心に幼児期の遊びの意味と子どもの成長について考えたい。		
24	子育てと子育て	早期教育や偏差値が取り沙汰される社会に育った親や、子育て中の保護者と個育てについて考えたい。		
25	新保育所保育指針に学ぶ	新保育所保育指針をどうとらえるのか。	小学生	わけびき真澄
26	各種ワークショップ(造形関係)	シルクスクリーンによるTシャツづくりや簡単な手作りおもちゃ、凧やウグイス笛、フリクションドラマなどの伝承おもちゃの製作。		
27	造形あそび	子どもが楽しく取り組める描画活動や製作活動の紹介とその実践。		
28	子どもの造形表現を支える	子どもの造形表現の意味や発達段階、指導における要点など	保育・幼児教育関係者、乳幼児を持つ保護者	鷺尾 敦
29	電子紙芝居制作	子どもの教材としての電子絵本の制作の方法と活用方法を学び、簡単な作品を制作します。	幼稚園・保育園等関係者	
30	園のホームページ制作	題材を園の情報発信として、ホームページの制作方法から公開までの知識と技術を学ぶ。	幼稚園・保育園関係者、乳幼児を持つ保護者	大蔵香代子
31	子どもパソコン教室	発達段階に応じた子ども向けのパソコン体験教室。基本的に何かを制作することを通して、コンピュータリテラシーを身につける。	小学生低学年、高学年、中学生	
32	家庭の日常生活に於ける子育て	幼児をとりまく環境とその問題点を踏まえ、今、求められている子育てについて。	乳幼児をもつ母親、父親	池上綾子
33	集団生活としての幼児教育その具体的実践	幼児をとりまく環境とその問題点を踏まえ、今、求められている保育園・幼稚園における教育について。	保育者全般	
34	子どもの心とひびきあう保育	今の子どもたちには運動感あふれるあそび体験が必要、ドキドキ、わくわく、おもしろさを追求した保育理論と実践。	幼稚園教諭、保育士	岩附啓子
35	絵本を楽しむ	絵本の読み聞かせ・子どもの夢を育む絵本の魅力を探る。	幼稚園教諭、保育士 乳幼児を持つ保護者	
36	英語コミュニケーションの基礎	歌やチャンツを通して、英語のリズムに慣れる。ゲームとジェスチャーで英語コミュニケーションを図る。1行~3行会話でコミュニケーション。	小・中学生	太田和子
37	いきいき子育て、共育ち	豊かな感性と表現の育ちを考える。	保護者・保育者	
38	親子クッキング	親子で楽しく調理をし、「つくる たのしさ」を知る。(おかしなど) kid's in the kitchen	幼児、小学生とその保護者	駒田聡子
39	幼児期の食の大切さ	幼児期(学童期)の食のあり方についてわかり易く解説する。	幼稚園・幼稚園・小学校の指導者(幼児など参加可能)	田中厚好
40	「造形あそび」による造形描画指導法	だれもが楽しめる描画造形技法とその指導法。		
41	保育実践研究	指導計画、保育内容、保育指導(援助)のあり方検討。	幼稚園教諭、保育士	田口鉄久
42	就学前教育・保育をめぐる課題	保・幼・小の連携、保護者・地域との連携などについて考える。	幼稚園教諭、保育士	
43	絵本であそぼう。	親・子ならではの ・絵本のよみかかせ ・絵本を探す	親・子・大人	中井千保子
44	ボランティア養成講座	・より豊かなボランティア活動をめざして ・よみかかせのための絵本のえらび方、聞き入らせるには	ボランティア活動している人・やってみようとする人	
45	えほん・子ども・わたし	・絵本のよみかかせで出会った子どもそしてえほん	大人・先生・保育士	
46	環境教育(誰もが取り組める実践的環境教育)	身近な環境問題(大気汚染・水質汚染・ごみ問題)について講義または簡単な野外実験を行う。	保育園・幼稚園・小学校・中学校	朴 恵淑
47	NPO活動(身近な環境活動)	地域での環境問題への取組のできるNPO活動のあり方について講義。	一般市民・大学生・高校生	
48	実践的国際交流(民間レベル)	国レベルではなく、民間レベルで可能な国際交流について一緒に考え、実践的な取組可能なことから始める。	小学校・中学校・高校・大学・一般市民	
49	子どものこころとカウンセリングマインド	子どもの関わりでちょっとした大切なことに気づきましょう。	保育者・保護者	望木郁代

総会特別講演 キッズカルチャーデザインセンターの活動と課題

講師 杉崎 清子先生

(三重中京短期大学部教授・短期大学部長・キッズカルチャーデザインセンター長)

平成21年5月8日(金)、平成21年度の総会后17時15分より18時15分まで、三重中京短期大学部教授・短期大学部長・キッズカルチャーデザインセンター長の杉崎清子先生を講師にお招きし、「キッズカルチャーデザインセンター(KCDC)の活動と課題」というテーマで特別講演を行いました。講演では、KCDCの成り立ちや研究活動について、また平成19・20年度に行われた「一緒に遊ぼう！子育てフェスタin 松阪」開催の経緯や企画運営の様子、地域との連携等についてお話いただきました。次に内容の一部を紹介します。



1. KCDCの成り立ち

KCDCは、三重中京短期大学の食物栄養学科とこども学科の共通の研究センターとして設立されました。子どもたちを取り巻く社会環境に考慮しながら、子どもの文化創造に貢献することを目的としています。また、子どもに関する様々な事柄を研究し発信する地域の中核センターになることを目指しています。

2. 研究活動について

現代の課題である食育や子育て支援の研究を行うことを基本とし、主に事業の活動報告やアンケート調査報告等を通して、新しいこども文化の提唱やこどもを取り巻く社会環境等に対する提言を地域に向けて発信することに努めています。

3. 子育てフェスタの開催と地域へのネットワーク

平成19・20年度に「一緒に遊ぼう！子育てフェスタin 松阪」(会場:三重中京短期大学部構内)を開催しました。1年目は実施日を9月に設定し、開催に向けて2~3月に準備実行委員会を立ち上げました。‘松阪の地で、皆が集まってできること’を探りつつ、地域のNPO団体や市内の幼稚園や保育所に呼びかけて出展を募り、短大からは食物栄養学科とこども学科の学生企画によるヘルシーおやつコーナーやデジタル紙芝居などの10ブースが、また一般からは子どものフリーマーケットや、みえこどもの城に所属する子育てサークルの方々による40ものブースが出展され、当日は多くの方が訪れ盛大な賑わいを見せました。子育てサークルの中には障害を持つお子さんとそのご家族の方々も多数参加されており、障害者へのサポートと施設のバリアフリーについて若干の課題を残しました。また晴天に恵まれたものの残暑厳しい中での実施となり、2年目である20年度は10月中旬に開催時期を変更しました。前年度の体験を活かしつつ、新たに自由な遊び場や子育て支援コーナー、喫茶を設けるなどして、子どもとその家族の方々がゆったりと落ち着いて過ごせるような場が提供できるよう工夫しました。



研究員の方々は、KCDCの活動は地域の子育て支援への貢献という点で育児文化研究センターの活動とも共通するところがあり、共感を持ってお話を聞かせていただいているようでした。講演後、会場からは子育てフェスタの企画運営の過程や広報の取り組み方等について多数質問が寄せられました。

<ご多忙の中、大変有意義なご講演をいただき、ありがとうございました。満場拍手>

新入会研究員の紹介

上村 晶 研究員（新入会）



4月より子ども学科助教として着任し、「教育保育実習研究」など学生の実習指導を担当させて頂いております。『子どもに寄り添う心持ち』を大切にしながら、真摯に子どもと向き

合える保育者の育成に寄与したいと考えております。また、子どもの世界を理解するためにも、様々な遊びを通して心から触れ合うことを楽しむ重要性を伝えていきたいと考えています。子どもや保護者の方々・現場の先生と共に育ち合う子育ての実現に向けて微力ながら努力していく所存ですので、ご指導ご鞭撻下さいますよう、よろしくお願致します。

小田義隆 研究員（新入会）



熊本の中九州短期大学で保育者養成に携わっていましたが本年度から本学子ども学科で「教育原理」「教育制度論」「保育原理」の授業を担当させて頂いております。近年、社会が大学に求める役割が変化して

きております。大学とは教育・研究の場でありましたが、社会貢献が大学の役割として追加され、教育・研究・社会貢献がしっかり出来ているか否かが大学生生き残りの鍵となってきていると言えましょう。育児文化センターの活動を通して、高田短期大学の社会貢献に尽力していく所存ですので、よろしくご指導お願い申し上げます。



太田和子 研究員（新入会）



私は子ども学科で保育内容「表現」を担当しています。幼稚園現場で40年間、子どもたちから笑顔と勇気を、保護者や地域の方々から励ましを頂きながら子育ての願いや喜びを共有してきました。

子育ては“耕作”と似ていると感じています。よく耕された畑は太陽の温もりや雨の恵みを吸収し、小さな種がしっかり根をおろして力強く育ちます。センス・オブ・ワンダーそのものの幼い命の種が様々な体験を通して豊かに実るようにと願いつつ、微力ですが、心の畑を耕すお手伝いができるように努めたいと思っています。どうかよろしくお願致します。

鷲見裕子 研究員（新入会）



今年度、人間介護福祉学科から子ども学科へ移動してまいりました。本学では「小児栄養」「子どもと生活」「家政学実習」等の食を中心に家政学関連科目を担当しております。

これまで育児文化研究センター事業では「キッズクッキング」の講師を担当しました。子どもたちが真剣な表情で調理し、目を輝かせて自分で作った料理を食べる姿に接し、子どもに様々な実体験をさせ、「生活すること」の面白さや意味をわからせる取り組みの大切さ再確認しました。今後もセンターの活動を通して子どもの生活力を育てる支援をしていきたいと考えております。

よろしくお願いたします。

センターへのお問い合わせ・アクセス

高田短期大学育児文化研究センター
住所 〒514-0115 三重県津市一身田豊野 195
Tel (059) 232-2310
Fax (059) 232-6317
高田短期大学 内線 123 番
Mail ikubun@takada-jc.ac.jp



～編集後記～
今年度から新しい事業が始まりました。地域に密着したセンターの役割を考え、少しでも皆様の役に立てればと思っております。様々な分野の新会員の方々にもご協力頂き歩みを進めてまいります。(K・H)